

[WG名]

生成AI組版ソリューション研究開発WG

[補助事業名]

広報等の「組版」プロセスを生成AIで半自動化するソリューション研究開発

[幹事企業名]

サンメッセ株式会社

[WGメンバー]

岐阜協立大学、大垣市、山県市
下呂印刷株式会社

01

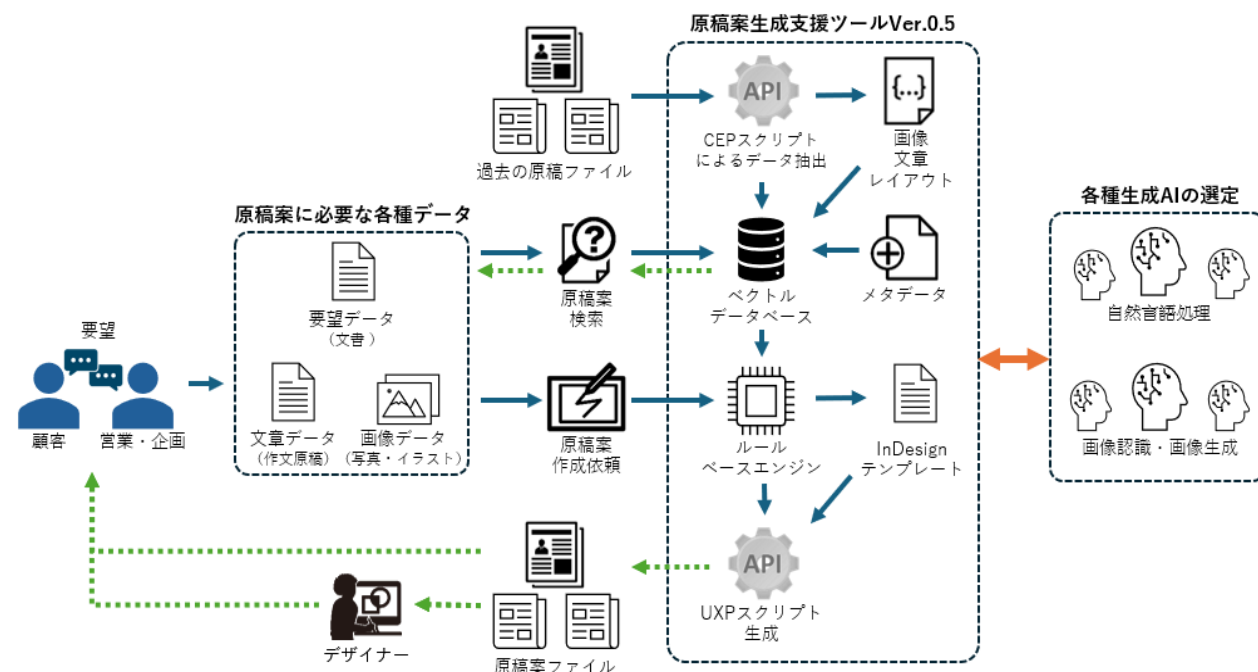
事業概要

定期刊行物の過去データの資産を有効活用し、生成AIによる組版データの半自動生成に向けた調査研究・開発を行い、「印刷・制作会社」や「事業会社、団体、自治体」での組版作業の一部を代替へ。業務の省力化による働き方改革の実現と共に、新規に顧客体験向上に注力するリソースの創出を目指します。

02

実施内容

- ① AI選定、InDesign（スクリプト）検証、基礎研究～実証テスト
- ② ベクトルデータベース試作
- ③ AIからベクトルデータベースを参照できる環境を構築



03

検証項目とその結果

- ①AI選定
 - ・日本語入出力可能、ファイル入力可能なモデルを選定。
 - ・今回の用途には回答を加工し過ぎないモデルが適切。
 - ⇒プロジェクト毎に、用途・目的に沿ったモデル選定が必要である。
- ②UXPスクリプト調査
 - ・InDesignへの付与タグは一意である必要がある。
 - ・図形データに付属するパレットの移植が不可能。
 - ・現行データが構造化されていない。
 - ⇒現行データを参考に構造化されたテンプレート作成が必要。
- ③AIによるタグ付与文章の生成
 - ・長文の場合、回答が途中で途切れることがある。
 - ・業務利用のExcelファイル内の目的シートを正確に取得できない。
 - ・タグ付与対象のXMLファイルを渡しても、ルールを自動学習せずプロンプトで直接XMLを記載しルールを明示する必要がある。
 - ⇒仲介プログラムの追加開発が必要。
 - ⇒AIへの指示を出すプロンプトのさらなる改良が求められる。

04

今後の展開

- ・過去広報誌データの整形と構造化によるデータの充実
- ・仲介プログラムの対話内容検討と作りこみ
- ・全自動化に向けたInDesign属性値の取り扱い検討
- ・デジタル化した校正プロセスを統合的に導入
- ・AIの誤変換リスクやレイアウト提案の妥当性の検証
- ・自治体間での連携によりベクトルデータベースやAIモデルを拡張